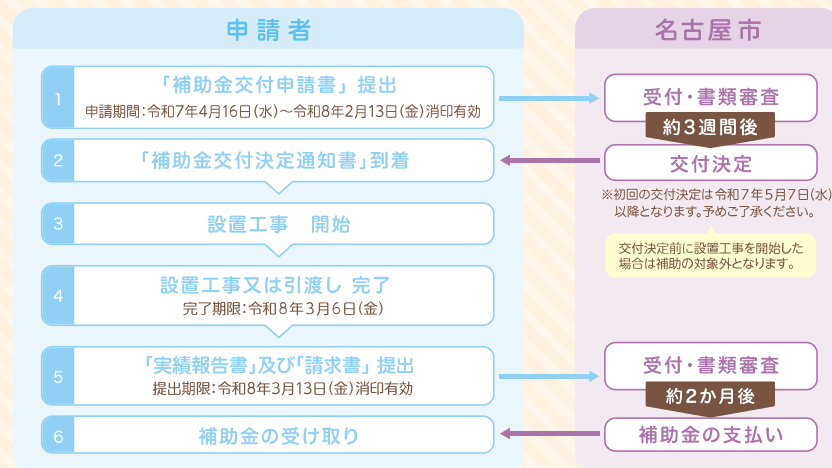


●手続きの流れ

交付申請書の提出から交付決定までは約3週間、実績報告書兼請求書の提出から補助金の支払までは約2か月かかります。審査期間短縮のご要望には応じかねますので、期間に余裕をもってお申込みください。



■書類提出先 及び「補助金の制度概要、書類の記入方法等」に関するお問い合わせ先

〒462-0045

名古屋市北区敷島町38 黒川フロントビル3F

株式会社アールエムサポート内

「住宅等の脱炭素化促進補助金 受付窓口」

TEL 052-908-5169 FAX 052-912-9887 ✉ datsutanso@rm-support.co.jp

■申請書類・申請の手引き等の入手先

名古屋市公式ウェブサイト「住宅等の脱炭素化促進補助」 <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000138396.html>

住宅の脱炭素化はメリットいろいろ ※詳細は中面をご覧ください。

- 国は2030年に、新築住宅の省エネ性能を最低でもZEH水準とすることを目指しており、その手始めとして、2025年度から、新築住宅に一定水準の省エネ性能が義務づけられます。
- ZEHは、地球温暖化の原因となるCO₂の排出削減はもとより、光熱費の削減、住宅の高断熱化によるヒートショックの予防や窓の結露の低減、太陽光発電設備の導入による災害時の電力確保などの様々なメリットがあります。
- 既存住宅においても、LED照明や太陽光発電設備の導入、あるいは、断熱窓などの住宅の高断熱化をはかることで、ZEHと同様に様々なメリットを得ることができます。

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)のエネルギー消費量ゼロの考え方



住宅を脱炭素化する補助金があります!

名古屋市では、二酸化炭素(CO₂)の排出を少なくする住宅の普及をめざし補助を行っています。

●対象となる機器及び住宅

	区分	主な要件	補助金額
一体的導入	太陽光発電設備	市内の住宅に、太陽光発電設備・HEMS・蓄電システム又はV2H充電設備を同時に導入(新築住宅・既存住宅対象)	築10年超の戸建住宅 ^{※1} 30,000円/kW(上限9.99kW)
			築10年以下の戸建住宅 ^{※1} 20,000円/kW(上限9.99kW)
			新築の戸建住宅 ^{※1} 10,000円/kW(上限9.99kW)
			共同住宅 ^{※1} 25,000円/kW(上限9.99kW)
ZEH ^{※3}	+		10,000円/件
	+		15,000円/kWh
	+		50,000円/件
	+		
ZEH ^{※3}	ZEH	国のZEH補助 ^{※2} を受ける新築住宅	100,000円/件
	ZEH+	国のZEH+補助 ^{※2} を受ける新築住宅	200,000円/件
	蓄電システム	ZEH,ZEH+と蓄電システムを同時に導入	15,000円/kWh
	V2H充電設備	新たに設置または設置された新築住宅等 ^{※4} の購入	50,000円/件
	蓄電システム	既設の太陽光発電設備に接続	15,000円/kWh
	断熱窓改修	国の断熱窓改修補助 ^{※5} を受ける断熱窓	補助対象経費の1/3(上限200,000円)
	エネファーム	新たに設置または設置された新築住宅の購入 ^{※6}	30,000円/件

※1 それぞれの住宅の要件については、要綱や申請の手引きで確認してください。

※2 経済産業省、国土交通省または環境省が実施するZEH及びZEH+への補助事業

※3 LCCM住宅も補助の対象です。詳しくは、要綱や申請の手引きで確認してください。

※4 経済産業省、国土交通省または環境省が実施する断熱窓改修への補助事業

※5 断熱窓改修への補助事業

※6 停電時自立運転機能の付いた機器が補助対象です。

※2 経済産業省、国土交通省または環境省が実施するZEH及びZEH+への補助事業

※3 LCCM住宅も補助の対象です。詳しくは、要綱や申請の手引きで確認してください。

※4 経済産業省、国土交通省または環境省が実施する断熱窓改修への補助事業

※5 断熱窓改修への補助事業

※6 停電時自立運転機能の付いた機器が補助対象です。

詳しくは、申請の手引き等をご覧ください。

また、申請書類や申請の手引き等は名古屋市公式ウェブサイトからダウンロードすることができます。

住宅を脱炭素化しよう！

光熱費の削減、生活の質の向上、健康リスクの低減、災害対策などメリットいろいろ！

太陽光発電設備 補助対象

太陽エネルギーを電気に変換して使用します。

- メリット
- 電気代を削減し、余った電気は売電できる
 - 日差しがあれば停電時にも電気を使える

エネファーム 補助対象

(家庭用燃料電池システム)

都市ガスなどから取り出した水素を利用して発電し、その時に発生する熱を給湯等に使用します。

- メリット
- 少ないエネルギーで給湯できる
 - 停電時にも電気を使える

蓄電システム 補助対象

太陽光発電設備で発電した電気を使いながら余った電気を蓄電します。

- メリット
- 太陽光発電設備で発電した電気を無駄なく使える
 - 停電時にも電気を使える

ゼッチ ZEH 補助対象

(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境を保ちながら、できる限りの省エネルギーに努め、さらに、太陽光発電等によりエネルギーを創り出すことで、家庭で消費する年間のエネルギー量が正味(ネット)でゼロ以下になる住宅のことをいいます。

ゼッチプラス ZEH+ 補助対象

(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・プラス)

ZEHより更なる省エネルギーに努めた住宅で、太陽光発電設備等で創ったエネルギーの自家消費率を向上させた住宅のことをいいます。

その他にも省エネ工事を補助する制度があります！

住宅金融支援機構のグリーンリフォームローンの利用者に対する利子補給等

名古屋市内に所在する住宅の所有者が、住宅金融支援機構の融資であるグリーンリフォームローンSを利用し既存住宅のZEH化リフォームを行う際に、ご活用いただけます。

- 上記の融資を受ける際に最長10年間利子補給(上限あり)
- 融資で必要な適合証明書発行手数料を補助(上限15万円)

グリーンリフォームローンに関するお問い合わせ：(独)住宅金融支援機構
利子補給制度に関するお問い合わせ：住宅都市局住宅企画課



TEL 0120-0860-35
TEL 052-972-2944

省エネルギー改修工事が行われた住宅に対する固定資産税の減額

平成26年4月1日以前から所在する住宅で、窓を含む断熱改修工事や太陽光発電設備の取り付け工事などを行うと、固定資産税の減額制度が活用できる場合があります。

- 一定の要件を満たし、省エネルギー改修工事が完了した日から3か月以内に申告することで、その住戸に相当する固定資産税額の1/3を1年間減額(住戸1戸あたり居住面積120㎡まで)

お問い合わせ先：住宅が所在する区を担当する市税事務所
固定資産税課家屋担当



断熱窓改修 補助対象

窓の断熱性を高めます。

- メリット
- 光熱費の削減
 - 「夏涼しく」「冬暖かい」快適空間に
 - ヒートショック対策
 - 防音効果・防犯対策・結露の軽減が期待できる

高効率エアコン・LED照明

- メリット
- 光熱費の削減

HEMS 補助対象

(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)

エネルギーを“見える化”し、家電等の使用を最適に管理します。

- メリット
- 節電意識の向上
 - 家電の自動制御による節電

V2H充放電設備 補助対象

(ビークル・トゥ・ホーム)

電気自動車等に太陽光発電設備で創った電気を充電するとともに、夜間や停電時には電気自動車等の電気を住宅で使用することができます。

- メリット
- 電気自動車等が車としても、蓄電システムとしても使える
 - 太陽光発電設備で発電した電気を無駄なく使える



ZEHに暮らす人の声

以前住んでいた家よりも
涼しく暮らしやすかった
約 **72%**

(ZEHを)
薦めたい
と思う
約 **92%**

推奨のポイントは
光熱費の安さ
約 **61%**

(一社)環境共創イニシアチブ
「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス実証事業
調査発表会2024」より抜粋

断熱窓改修した人の声

カビや結露が
発生しづら
くなっている

季節を問わず
快適に過ごせている

光熱費が
安くなった

(公財)北海道財団
「既存住宅における断熱リフォーム
支援事業」アンケート調査結果より

太陽光発電設備や蓄電システムを導入した人の声

光熱費が節約できた

売電収入が
得られる

停電時に
非常用電源として
使用できる